

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科シンポジウム

# “アジアビジネスと人材育成”

アジアビジネスの発展、人材育成の未来、日本の役割を議論する。

2011年3月5・6・7日

参加無料  
事前申込不要

## 戦略的大学連携支援プログラムシンポジウム

### アジアビジネスと人材育成

日時：2011年3月6日(日)  
13:00～16:00

会場：関西学院大学上ヶ原キャンパス  
IBA(全学共用棟)301 教室

言語：英語 (通訳なし)

プログラム：

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:35 基調講演

「アジアビジネスの発展と MBA 教育」

- A. Seetharaman  
(S P Jain Center of Management)

13:35-14:30 プレゼンテーション

「マネジメント人材育成の取り組みと日本への期待」

- Ali Khatibi (Management & Science University)

- Gugus Irianto (Brawijaya University)

- 松本秋夫 (株式会社 LS7 コーポレーション)

14:30-14:45 休憩

14:45-15:35 パネルディスカッション

「大学間連携によるアジアビジネスの発展に向けて」

15:35-15:55 質疑応答

15:55-16:00 閉会挨拶

## 経営戦略研究科連続セミナー

### グローバリゼーションと百貨店経営

日時：2011年3月5日(土) 18:00～19:15  
会場：関西学院大学梅田キャンパス 1405 教室

講師：奥田 務

(J.フロントリテイリング株式会社・代表取締役会長兼最高  
経営責任者)

言語：日本語

概要：急速に進展するグローバリゼーションの影響を受け、日本の経済、社会は大きく変わりつつあります。その結果、日本の消費者の価値観やライフスタイル、購買行動は急激に変化しています。グローバリゼーションとそれがもたらすマーケット変化が、百貨店にどのような影響を与えているのか、また、今後百貨店は、これらに対し、どのように対応すべきなのか、についてお話しします。

## 戦略的大学連携支援プログラムセミナー

### Qualcomm のグローバル戦略

日時：2011年3月7日(月) 19:00～20:30  
会場：関西学院大学梅田キャンパス 1405 教室

講師：山田 純

(クアルコムジャパン株式会社・代表取締役会長兼社長)

言語：日本語

概要：携帯電話は急速に通信速度とデータ処理能力を高め、個人が常に身につけて使用するパソコンのようなものになりつつあります。クアルコムは、通信技術とチップセットで業界をリードし続けるべく、技術開発に邁進していますが、技術に加えて重要な要件としてビジネスモデルがあると認識しています。クアルコムが押し進めるビジネスモデルは、アジア抜きには語れません。クアルコムとアジアの関係が引き金となって、携帯電話の世界がどのように変化しつつあるのかについて解説します。

主 催



関西学院大学  
専門職大学院 経営戦略研究科

お問い合わせ先

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科  
戦略的大学連携支援プログラム

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155  
TEL: 0798-54-6094 FAX: 0798-54-6581  
E-mail: mba-renkei@kwansei.ac.jp  
http://www.kwansei-ac.jp/iba/mba-renkei/

世界的な経営環境の激変に対応するため、日本企業は強力なリーダーシップ、創造性、革新性、そして国際性を持ったマネジメント人材を必要としており、その育成が日本のビジネススクールにとっての重要かつ緊急課題の一つとなっています。関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻（以下、関学ビジネススクール）は、この課題に答えるべく、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科、南山大学大学院ビジネス研究科と連携をしながら、フロントラインでMBA教育の充実、発展に取り組んでいます。連携取組は、幹部候補生の教育、物造りと地域連携、グローバリゼーションへの対応という課題に絞り込まれ、関学ビジネススクールは、グローバリゼーションへの対応に焦点をあてています。

アジア開発銀行の予測によれば、2010年度アジア地域のGDP成長率は8.6%と推定されています（東アジア地域（東南アジア10カ国、中国、香港、韓国）においては、8.8%と推定）。このような経済成長を背景としてアジア各国では次世代ビジネスリーダーの育成に積極的な取り組みをしており、ビジネススクールがその重要な役割を担いつつあります。2年前のリーマンショックを起因とする経済不況は、欧米型ビジネススクールの教育に原因がある等の説が流布しましたが、欧米のビジネススクールの人気は依然として好調であり、アジアからの留学生（日本は除く。）も増加しています。アジア各国のビジネススクールは、この欧米型ビジネススクールをモデルとしながら、発展をして来ています。

今回、「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」の一環として“アジアビジネスと人材育成”をテーマに公開シンポジウムを開催致します。参加校は、アジアのビジネススクールから、Management & Science University ビジネススクール（マレーシア）、Brawijaya University ビジネススクール（インドネシア）、S P Jain Center of Management(シンガポール)、Bharathiar University ビジネススクール（インド）、日本側から青山学院大学ビジネススクール、関西学院大学ビジネススクールが予定されており、参加者（アジアのビジネススクールはDean 招聘を予定。）のプレゼンテーション、パネルディスカッション等を通じて、アジアにおけるビジネスと人材育成の現状、将来的な人材育成の取り組みと日本への期待、大学間連携による具体的な取り組み等々に関して複眼的な視点での意見交換を紹介、今後のアジアビジネスと人材育成の在り方を探ります。更に、シンポジウム開催日に前後しますが、産業界のリーダーの方々において頂き、アジアビジネスに関する講演も予定しております。講演者は奥田 務氏（J. フロント リテイリング会長兼 CEO）、山田 純氏（Qualcomm Japan 会長兼社長）を予定しております。

日本のビジネススクールは、一部の先駆的ビジネススクールを除いて、ほぼ5年前に発足し、現在32校が存在しています。各校共、欧米型ビジネススクールの特徴を取り入れつつ、日本の企業環境に適応すべく、独自の教育を模索、提供しています。関西学院大学経営戦略研究科ビジネススクールは企業経営戦略コース、国際経営コースの二つのコースを通じて、対応して来ましたが、しかしながら、グローバリゼーションへの対応、企業からの評価、教育の質、キャリア開発等々、現在、様々な課題に直面しています。これらの課題に対応すべく、関学ビジネススクールがアジアビジネス及び大学院教育の最新の動向を皆様にお伝えし、皆様と一緒に情報の共有を致したいと思っております。

ビジネスの最前線にいらっしゃる方々はもちろん、企業の人事担当者、大学、大学院教育関係者、MBAへの進学を希望している方々など、どうか様々な方々に多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科

案 内 地

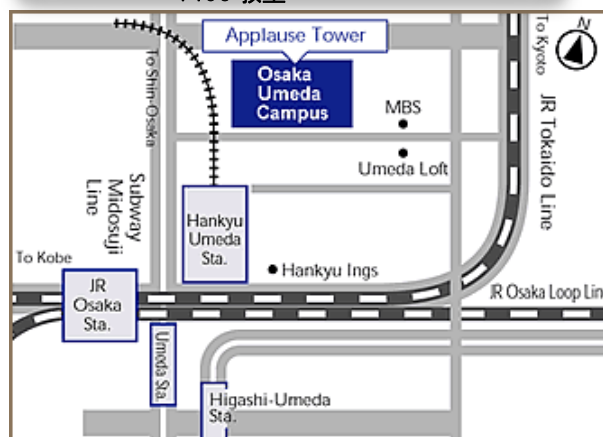
- 3月6日 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス  
IBA(全学共用棟)3階 301教室



〒662-8501  
兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155  
[http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_000374.html](http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html)



- 3月5-7日 関西学院大学大阪梅田キャンパス  
1405教室



〒530-0013  
大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー14階  
[http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_001746.html](http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_001746.html)